

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	アルファステイツ鳥取行徳	階数	地上13F	
建設地	鳥取市行徳一丁目102-2,124,124-2	構造	RC造	
用途地域	商業地域	平均居住人員	192 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年6月19日	
敷地面積	1,629 m ²	作成者	藤澤 敏典	
建築面積	389 m ²	確認日	2024年6月19日	
延床面積	3,835 m ²	確認者	藤澤 敏典	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
BEE = 1.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.5	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.7
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
Q1 室内環境 ホルムアルデヒドが発生しない建材を採用	Q2 サービス性能 光回線を採用	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー BEI値0.79と省エネルギーに配慮	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車スペースを確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される